



修学旅行で志布志を満喫！

岡山県と兵庫県からの修学旅行生が志布志で民泊体験！田舎暮らしを満喫しました。

5月12日～13日と、24日～25日のそれぞれ2日間、岡山市立御南中学校と尼崎市立武庫中学校の3年生、計65人が志布志市を訪れました。

同校の生徒は「初めての体験ばかりで楽しい。また、受け入れてくれる人がとっても温かい。将来、また志布志に遊びに来たい」と話してくれました。



今が旬！ 鱧三昧祭り開催

志布志漁協による鱧三昧祭りが開催され、旬を迎えたハモを存分にアピールしました。

5月11日、志布志漁協には市内外から多くの方が訪れ、無料で配布されたハモの吸い物やちりめんの試食など、志布志の海の幸を堪能しました。

また市内の飲食店が参加した「第2回ハモ料理コンテスト」が開催され、国民宿舎ボルベリアダグリの「ハモカツバーガー」がグランプリに輝きました。

バリアフリーツアー、開催！

車椅子の利用者などがボランティアと一緒にお釈迦まつりを楽しみました。

4月29日、特定医療法人左右会そお地区障がい者相談支援センター主催の第9回バリアフリーツアーが開催され、約40人が参加しました。

「まつりの会場に行くのは初めて」という参加者からは「実際にシャンシャン馬などのパレードを見られて嬉しかった」と喜びの声が聞かれました。



認知症を正しく理解するために

市社会福祉協議会が志布志警察署員を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。

5月8日、志布志警察署で開催された同講座には、署員約50人が参加、認知症への理解を深めました。

社会福祉協議会が警察署員向けに講座を開催するのは、県内でも初めての取り組みです。市社協は、市内高齢者数の約1万人と同じ数の認知症サポーター養成を目指して積極的に取り組んでいます。



図書館活動で文部科学大臣賞！

志布志高校の図書館活動が子どもの読書活動優秀実践校として評価されました。

5月28日、平成26年度子どもの読書活動優秀実践校として文部科学大臣賞を受賞した志布志高校図書委員が、その報告に市長室を訪れました。

報告に訪れた図書委員は「この受賞を機に、学校全体で本を読む人が増えるよう、今後も工夫して取り組んでいきたいです」と話しました。



地区最大の太陽光発電所、完成！

大隅地区最大級のメガソーラー発電所が完成し、竣工式が行われました。

5月12日、株式会社志布志メガソーラー発電が大黒ビアガーデン跡地に建設していた太陽光発電所が完成、竣工式には約40人の関係者が出席しました。

同発電所には3万20枚の太陽光パネルが設置され、一般家庭約1,500世帯分に相当する年間約625万kwの発電を見込んでいます。

インリーダークラブ開講式

ジュニアリーダークラブと合同で、かまどを使った炊飯活動や、研修を行いました。

5月25日、市内の小学5、6年生が集まって様々な活動を行う、インリーダークラブが開講しました。

当日は中高生のジュニアリーダーに教わりながら、カレー作りやバルーンアート研修などを体験。参加した児童は「色々なことを教えてくれるジュニアリーダーはすごいと思った」と感想を話しました。



志ふれあい交流館に絵画を寄贈！

二科会員で霧島市国分在住の米田安希^{めたやすき}さんから、50号の絵画をいただきました。

米田さんは、昭和50年から54年まで志布志高校に勤務されたことがあり、「迫田アヤさんの話を聞いて感動しました。少しでもお役に立てば…」という思いを持たれ、作品を寄贈されました。

いただいた「空へ」と題した絵画は、親子が自転車を漕いでいる夢のある作品です。

